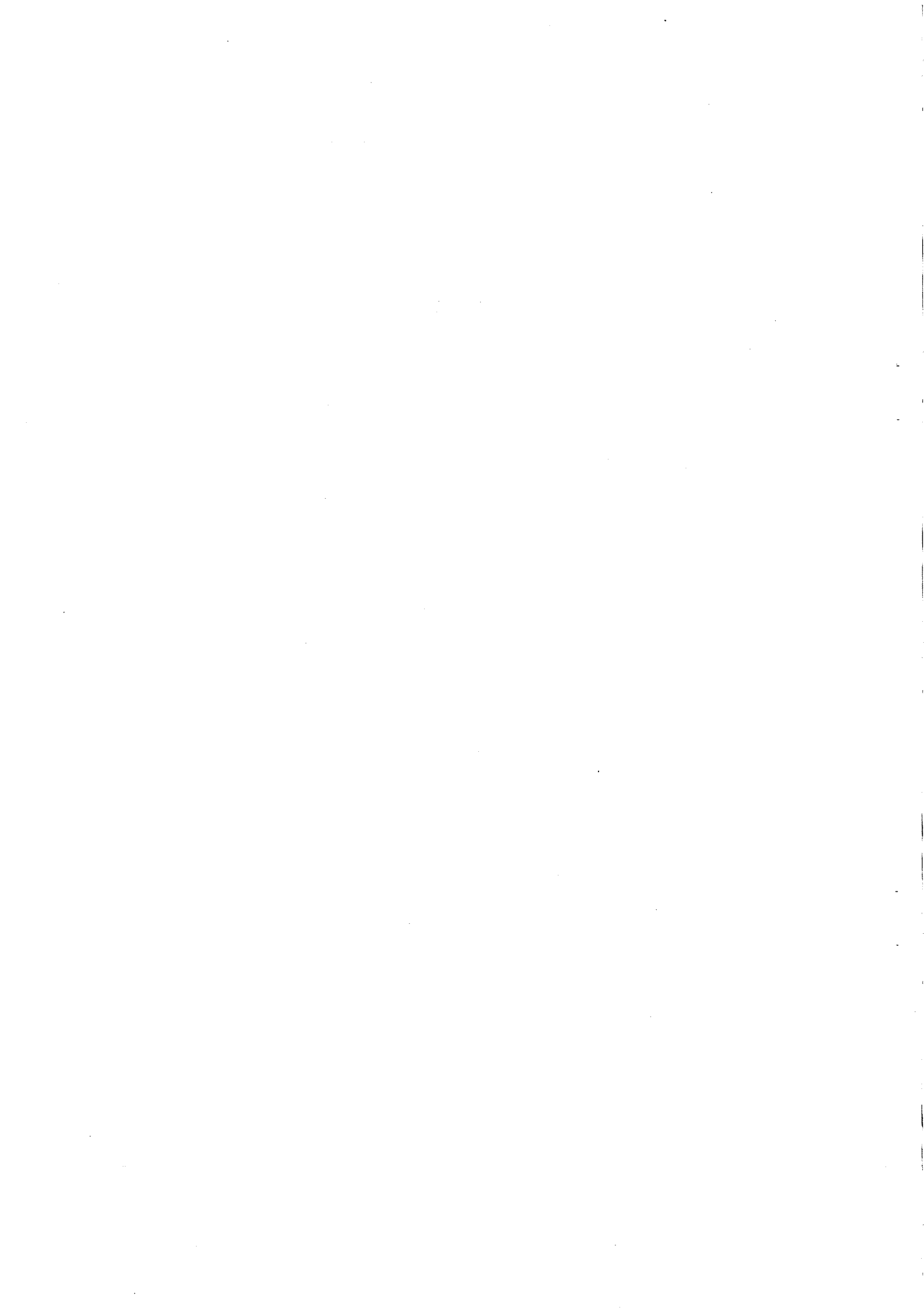


2020 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. 解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章〔A〕および史料〔B〕を読み、下記の設問に答えなさい（文章〔A〕の設問における史料、史料〔B〕は、原文から漢字や仮名づかい、句読点を加える等適宜修正している）。（20点）

〔A〕

日本列島では、1万年余りにも渡った縄文時代につづき、紀元前4世紀頃から弥生時代^①が始まったと考えられている。この時代には、新たな土器が^①つくられ、金属器の使用も始まるなど、水稻耕作を基盤にした文化が形成され、こうした文化は、九州北部から始まって、北海道や南西諸島を除く列島各地に広がっていった。また、この弥生時代は、列島上に統一国家が形成される過渡的段階であり、小国という地域的な小集団^②が各地に成立し、次第にこれら小国が連合するようになったと考えられており、発掘された墳丘墓は、そうした小国の王の墓と考えられている。

そして、3世紀中頃からは西日本を中心に前方後円墳が造られ、各地に広まって新たな時代である古墳時代^③を迎えた。この時代は、近畿地方に成立したヤマト政権^④の勢力が列島に^③広がり、統一国家に向かう時期で、ヤマト政権の波及とともに前方後円墳の造立も広がったと考えられている。政権の様相については、各地の豪族が連合した政権から、大王を中心に近畿地方の豪族らで構成される政権に移行したと考えられ、5世紀以降、政権は豪族を従える支配体制^⑤を成立させて大王権力を強化した。また、朝鮮半島などから渡来した人びと^⑥を組織して技術や知識を活用する体制も整え、6世紀^⑦の末には推古天皇が即位した。

問1 下線部①に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 弥生時代は、土器の形や模様から、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6期に区分されている。
- イ 収穫した米などを保存するための施設として高床倉庫が建てられ、登呂遺跡からは、その跡が発掘された。
- ウ 弥生土器は、縄文土器に比べ、厚手で硬く、黒褐色であり、煮炊き用の壺などが出土している。
- エ 弥生時代を通じて農具に金属は使われず、稲を刈り取るための農具である石包丁などの石器が使われた。
- オ 支石墓が東北地方北部から数多く出土するなど、死者を埋葬する墓には地域性が見られる。

問2 下線部②について記している中国の歴史書の記述の一部を示したものが、次のa～eである。このa～eに示されている出来事を年代順に正しく配列したものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 「更々相誅殺し、(中略)宗女そうじょ壹いっ与年十三なるを立てて王と為す。」
- b 「倭の女王、大夫難升米等を遣し郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。」
- c 「安帝の永初元年、倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。」
- d 「建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。」
- e 「夫れ楽浪海中に倭人有り。分れて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ。」

- ア c→e→a→b→d
- イ d→a→c→b→e
- ウ d→e→b→a→c
- エ e→d→b→c→a
- オ e→d→c→b→a

問3 下線部③の遺跡に関する次の記述 a～e について、誤っている記述を組み合わせたものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 奈良県にある箸墓古墳は、出現期における最大規模の前方後円墳である。
- b 大阪府の百舌鳥古墳群にある大仙陵古墳は、仁徳天皇陵とされている。
- c 岡山県にある造山古墳は、中期における大規模な前方後円墳である。
- d 熊本県の稲荷山古墳からは金象眼の銘文のある鉄刀が出土している。
- e 奈良県にある高松塚古墳の石室には四天王や男女群像が描かれている。

- ア a b
- イ a e
- ウ b c
- エ c d
- オ d e

問4 下線部④が、4世紀末に朝鮮半島へ進出したことは、ある人物の偉業を示す石碑に「百残・新羅は旧是れ属民なり。由来朝貢す。而るに倭、辛卯の年よりこのかた、海を渡りて百残・□□・□羅を破り、以て臣民と為す。」と、刻まれているが、この偉業が刻まれた人物は誰か。該当する人物名を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 好太王
- イ 聖明王
- ウ 文武王
- エ 長寿王
- オ 白壁王

問5 下線部⑤に関する次の記述 a～e について、誤っている記述を組み合わせたものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 豪族の私有地は田荘、私有民は部曲と呼ばれた。
- b 大伴氏や蘇我氏は、地名を氏の名としている豪族であった。
- c 大臣は臣を与えられた豪族から、大連は連を与えられた豪族から任じられた。
- d 国造は地方官であり、地方豪族から任じられることが多かった。
- e 屯倉は大王やその一族の私有する部民であった。

- ア a c
- イ a d
- ウ b c
- エ b e
- オ c d

問6 下線部⑥に関する次の記述 a～e について、誤っている記述を組み合わせたものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 弓月君は秦氏の祖とされている。
- b 阿知使主は西文氏の祖とされている。
- c 王仁は東漢氏の祖とされている。
- d 百済の僧であった観勒が暦法などを伝えたといわれている。
- e 高句麗の僧であった曇徴が紙・墨などの製法を伝えたといわれている。

- ア a d
- イ a e
- ウ b c
- エ c d
- オ c e

問7 下線部⑦の出来事に関する次の記述 a～e について、出来事が起こった順に正しく配列したものを、下のア～オから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 崇峻天皇が東漢直駒に殺害された。
- b 百済の王が欽明天皇に仏像や経典などを伝えた。
- c 物部守屋が蘇我氏らと戦って敗れ、滅ぼされた。
- d 九州で、地方豪族の磐井が新羅と結んで反乱をおこした。
- e 敏達天皇の皇后であった人物が即位し、天皇となった。

- ア a→d→b→c→e
- イ b→c→a→e→d
- ウ c→a→e→d→b
- エ d→b→c→a→e
- オ e→d→c→b→a

〔B〕 史料

コノ後三条^{くわい}位^{おんとき}ノ御時、(中略)延久^{えんきゅう}ノ記録所トテハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道^⑧ノ所領ノ宣旨・官符^{せんじ・かんぷ}モナクテ公田^{くでん}ヲカスル事、一天四海ノ巨害^{こがい}ナリトキコシメシツメテアリケルハ、スナハチ宇治^{うじ}殿^{どの}ノ時、一ノ所^⑨ノ御領^{ごりょう}御領トノミ云テ、庄園諸國ニミチテ ノツトメタヘガタシナド云^いヲ、キコシメシモチタリケルニコソ。

(後略)

問8 下線部⑧の皇位を継承して即位した天皇は、1086年に幼少の皇子に皇位を譲ってみずからが上皇として政治の実権を握る道を開き、院政期が始まったが、この院政期の文化に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 中尊寺金色堂は、奥州藤原氏の初代藤原清衡が陸奥平泉に創建した阿弥陀堂である。

イ 京都府の六波羅蜜寺に伝えられている空也上人像は、康勝によってつくられた。

ウ 『梁塵秘抄』は、白河上皇が流行していた今様などを集めて編纂した歌謡集である。

エ 教王護国寺両界曼荼羅は、金剛界、胎藏界ともに仏の世界を図示したものである。

オ 『信貴山縁起絵巻』には、伴善男が失脚する契機になった応天門の変の様子が描かれている。

問9 下線部⑨の人物名として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 藤原道長

イ 藤原忠通

ウ 藤原頼通

エ 藤原基経

オ 藤原秀衡

問10 空欄 にあてはまる語句を1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 領家

イ 受領

ウ 目代

エ 守護

オ 本家

Ⅱ 次の史料〔A〕・〔B〕（原文から漢字や仮名づかい、句読点を加える等適宜修正している）を読み、下記の設問に答えなさい。（30点）

〔A〕

- 一 日本ハ神国たる^{ところ} 処、きりしたん国より を授け候儀、太^{はなはだもつ} 以て然るべからず候事。
- 一 其^{その}国郡の者を近付け^{ちかづ} 門徒^{もん}になし、神社仏閣^{うちやぶ}を打破^{うちやぶ}るの由、前代^{みもん}未聞^{みもん}に候。国郡^{ごい}在所^{しよ}知行^{しよ}等給人^とに下され候儀は、当座^{とうざ}の事に候。天下^{あいまも}よりの を相守^{あいまも}り、諸事^{しよ}其意^{しよ}を得べき^う 処、下々^{しもじも}として猥^{みだ}りの義曲^{くせこと}事の事。
- 一 伴天連^{ぼてれん}、其^{その}知恵^{ちえ}の法^{もつ}を以て、心ざし^{しだい}次第^{しだい}ニ を持ち候と 思召^{おぼしめ}され候へ
 ① 右^{にちいき}の如く日域^{にちいき}の を相破^{あひやぶ}る事曲^{くせこと}事に候条、伴天連^{ぼてれん}儀、日本^{にっぽん}の地^ちニハおかせられ^{まじく} 間敷^{まじく}候間、今日^{けふ}より廿^(二十)日^{にち}の間^まニ用意^{つかまつ} 仕^{つかまつ}り帰国^{きこく}すべく候。……
- 一 黒船^{くろふね}の儀^ぎハ商売^{しょうばい}の事に候間、各別^{かくべつ}に候^あの条、年月^{ねんげつ}を^へ経^へ、諸事^{しよ}売買^{ばい}いたすべき事。
 ②

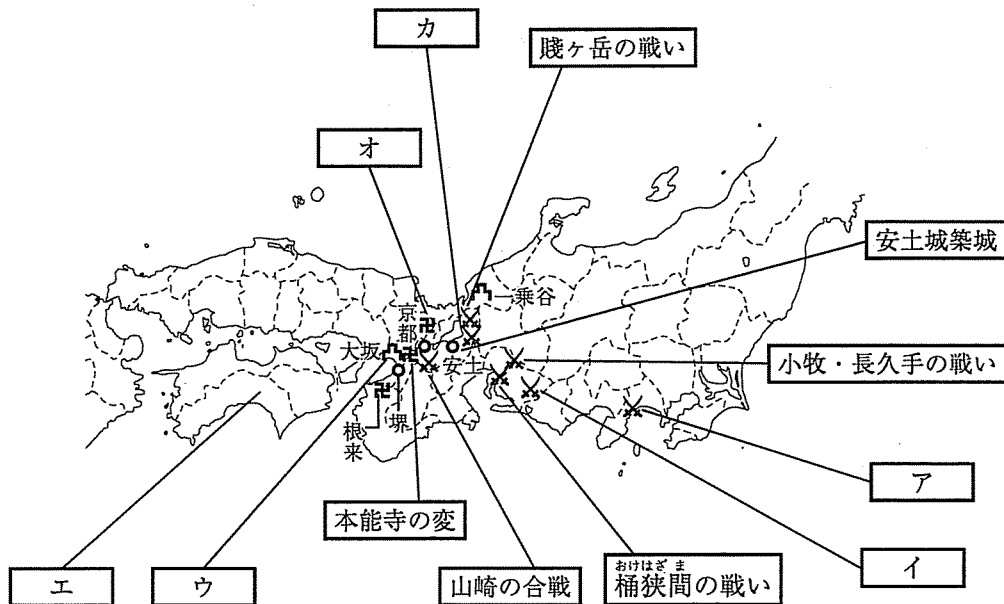
問1 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | | |
|---|------|-------|------|------|
| ア | a 異教 | b 御成敗 | c 族 | d 宗旨 |
| イ | a 宗門 | b 御禁制 | c 患 | d 仏法 |
| ウ | a 邪法 | b 御禁制 | c 患 | d 趣 |
| エ | a 異教 | b 御法度 | c 檀那 | d 宗旨 |
| オ | a 宗門 | b 御成敗 | c 族 | d 趣 |
| カ | a 邪法 | b 御法度 | c 檀那 | d 仏法 |

問2 下線部①に関連して、織田信長は、仏教勢力を弾圧する一方でキリスト教を保護しつつ、戦国大名のなかで最初に全国統一に乗り出したが、次の出来事が起こった土地としてもっとも適切なものを図1のア～カのなかからそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- a 姉川の戦い
- b 長篠合戦
- c 石山戦争
- d 延暦寺焼討ち

図1



問3 下線部①に関連して、イエズス会宣教師の勧めにより、少年使節をローマ教皇のもとに派遣した大名として正しいものを3つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 黒田孝高
- イ 大村純忠
- ウ 大友義鎮
- エ 小西行長
- オ 有馬晴信

問4 下線部①に関連して、キリスト教への取り締まりについて、記述されている出来事が起こった年代順に正しく配列したものを、下のア～カから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 長崎において、55人の宣教師・信徒らが処刑された。
- b 幕府は、直轄領にキリシタン信仰を禁じる法令を出した。
- c 大名らのキリスト教入信を許可制にし、その直後に宣教師の国外追放を命じた。
- d 幕府は、寺請制度を設けて宗門改めを実施し、仏教への転宗を強制した。

- ア a→c→d→b
- イ b→c→a→d
- ウ b→d→c→a
- エ c→b→a→d
- オ c→d→b→a
- カ d→c→b→a

問5 下線部②に関連して、南蛮貿易が盛んになり、活発に布教が行われるようになるにつれて、宣教師たちによってさまざまな学問や技術がもたらされたが、この時期に関する記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 京都で出雲阿国がはじめたかぶき踊りが人々にもてはやされた。
- イ 当時、南蛮人との交易や南蛮人の風俗を主題とした風俗画屏風が、土佐光起とその弟子たちによって多く描かれた。
- ウ 当時、庶民の衣服として、小袖と呼ばれる衣服が一般にもちいられるようになり、男性は小袖の着流しが普通になった。
- エ イエズス会の宣教師ルイス＝アルメイダによって西欧の活字印刷機が伝えられた。
- オ 堺の商人高三隆達が節づけした小歌が、民衆に人気であった。

〔B〕

いにしへは百姓より町人は下座なりといへども、いつの頃よりか天下金銀づかひ
① となりて、天下の金銀財宝②みな町人の方に主さどれる事にて、貴人の御前へも召出
③ される、事もあれば、いつとなく其品百姓の上にあるに似たり。況や百年以来は天下
④ 静謐の御代なる故、儒者、医者、歌道者、茶湯風流の諸芸者、多くは町人の中より
出来る事になりぬ。

問6 下線部①に関連して、安土・桃山時代を象徴する城郭建築の内部は、豪華な障
壁画が描かれたが、この時代に活躍した作者と作品の組み合わせとして正しいも
のを3つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 狩野山楽—「牡丹図」
- イ 狩野永徳—「鷹見泉石像」
- ウ 狩野山楽—「松鷹図」
- エ 狩野永徳—「唐獅子図屏風」
- オ 狩野探幽—「松林図屏風」

問7 下線部①に関連して、安土・桃山時代の建築物として正しいものを3つ選び、
その記号をマークしなさい。

- ア 姫路城
- イ 妙喜庵茶室
- ウ 西芳寺庭園
- エ 富貴寺大堂
- オ 大徳寺唐門
- カ 円覚寺舍利殿

問8 下線部②に関連して、江戸幕藩体制下における村・百姓に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 村の掟や村内の秩序に違反した者に対して、一定の地域に居住する村民が結束して交流を断つという制裁行為が課されることがあった。

イ 検地帳に田畑・屋敷地の所持を登録され、年貢・諸役を負担する本百姓は、村の主要な構成員であり、村政に参加した。

ウ 村は、村全体の責任で年貢・諸役を負担し、村民は5戸を基準とした五人組に編成された。

エ 村は、名主、寄親、百姓代からなる村方三役を中心に運営された。

オ 幕府は、耕地の分割相続を制限し、田畑の細分化を防ごうとした。

問9 下線部③に関連して、近世の町と町人に関する記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

ア 多くの都市で芝居小屋や見世物小屋といった施設がにぎわいをみせた。

イ 近世の城下町は、武家屋敷の集まる武家地、町屋の集まる町人地など、身分ごとに居住する地域が区分された。

ウ 伊勢神宮へのお蔭参りは、熱狂的な「ええじゃないか」の集団乱舞が発生する頃までにほとんど廃れていた。

エ 谷中天王寺・目黒不動・湯島天神といった寺社の境内で縁日や富突などが催され、多くの人々が集った。

オ 陸上交通の整備が進むにつれて街道には多くの宿駅が置かれ、宿場町が発展するとともに、飛脚による通信制度や遠隔地を結ぶ馬車の整備が全国的に進められた。

問10 下線部③に関連して、元禄文化を代表する作者と作品の組み合わせとして正しいものを2つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 円山応挙—「雪松図屏風」
- イ 尾形光琳—「燕子花図屏風」
- ウ 葛飾北斎—「名所江戸百景」
- エ 池大雅—「十便十宜図」
- オ 住吉具慶—「洛中洛外図巻」

問11 下線部③に関連して、化政文化の記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 俳諧では、伊賀の出身の松尾芭蕉が蕉風俳諧を確立し、『奥の細道』などの紀行文を著した。
- イ 文章主体の小説で、勧善懲悪、因果応報の趣旨で書かれた歴史的伝奇小説は読本と称されたが、代表的な作品の1つとして上田秋成の『雨月物語』が挙げられる。
- ウ 江戸町人の恋愛情痴の生活を描いた人情本が人気であったが、代表的な作家の一人として為永春水が挙げられる。
- エ 江戸の遊里を描く洒落本や黄表紙と呼ばれる風刺のきいた絵入りの小説が盛んに売り出されたが、幕府の改革で厳しく取り締まれた。
- オ 式亭三馬、十返舎一九は滑稽本の代表的な作家であるが、一九の代表作として『浮世風呂』が挙げられる。

問12. 下線部④に関連して、江戸時代の学問に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 海保青陵は、藩財政の再建は商品経済の発展をもたらす殖産興業によるべきであると主張した。

イ 山鹿素行や伊藤仁斎らによって始められた古学派は、孔子・孟子らの原典にあたって、その真意を汲み取ろうとするものである。

ウ 室町時代に五山の禅僧が学んでいた朱子学は、身分秩序を重視する学問であったため、幕府や藩は体制維持のための教学とした。

エ 水戸学は、19世紀の前半になると、天皇を尊び、覇者を排斥する尊王斥覇の理論から攘夷論を展開し、幕末の思想や運動に大きな影響を与えた。

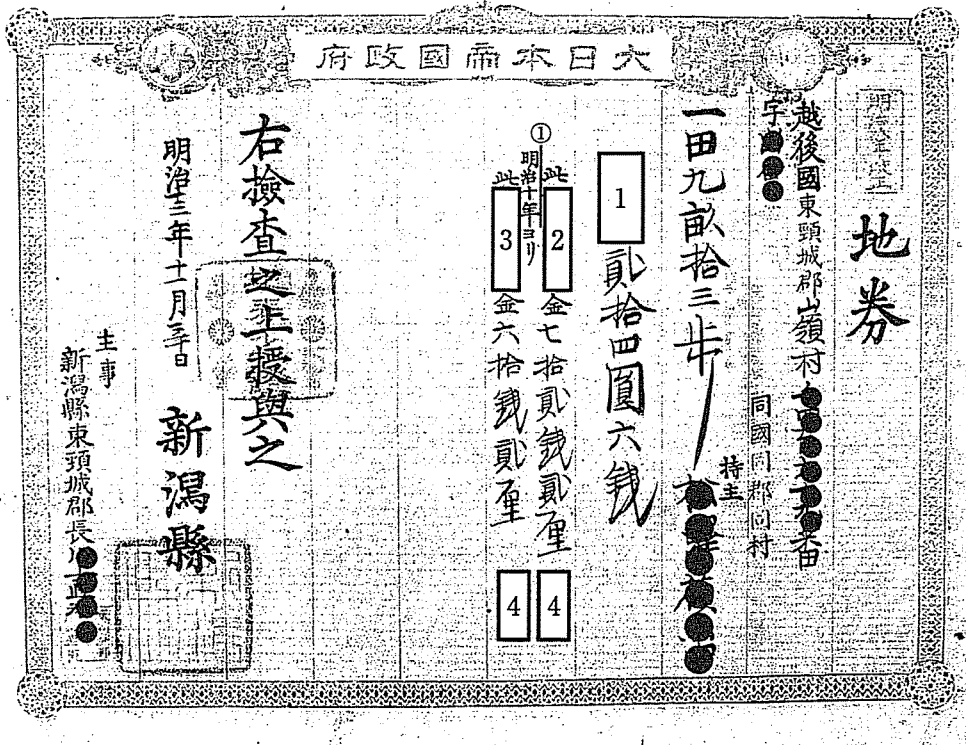
オ 明の王陽明が創始した儒学の一派である陽明学は知行合一を説くものであり、石田梅岩や手島堵庵などはその学統である。

Ⅲ 次の史料〔A〕・〔B〕（もとの史料から、内容および漢字や仮名づかい等適宜修正している）および図1を読み、下記の設問に答えなさい。（20点）

史料〔A〕

地租改正施行相成候上ハ、土地ノ原価ニ随ヒ賦税致シ候ニ付、以後仮令豊熟ノ年ト
いへど 雖モ増税申シ付ケサルハ勿論、もちろん 違作ノ年柄之有リ候トモ減租ノ儀一切相成ラス候事

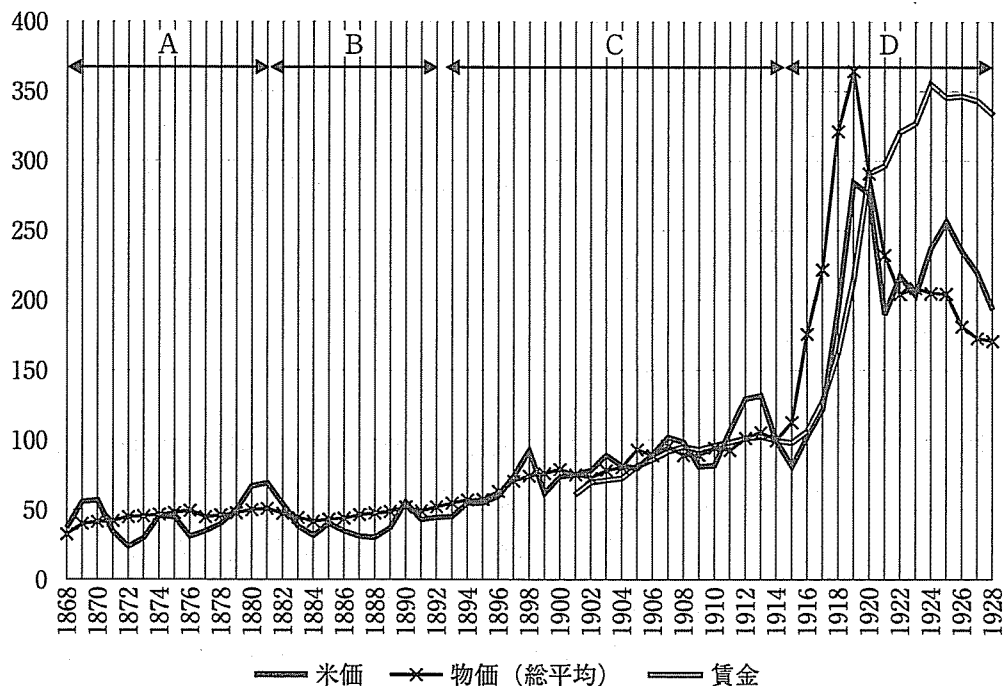
史料〔B〕



出所：『新潟県のあゆみ』第5章 近代国家の形成と新潟県，四 開化政策の進展，地租改正（新潟県立図書館・新潟県立文書館，越後佐渡デジタルライブラリー）より作成。

図1

米価・物価と賃金の推移 (1914年の水準を100とした指数)



出所：『日本経済統計総観—創刊五十周年記念』朝日新聞社，1930年（国立国会図書館デジタルコレクション）より作成。

問1 史料〔A〕から読み取れる地租改正の目的として適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 豊作や凶作に応じて増税や減租が施されることによる，土地所有権の確立
- イ 豊作や凶作に左右されない，政府の税収の安定的な確保
- ウ 凶作時でも賦税の実質的負担を変えないことによる，自作農経営の安定
- エ 凶作時に地租負担が増大する小作農家からの，殖産興業へ資する労働力の創出
- オ 豊作時には増税措置を施すことによる，政府歳入の増収

問2 史料〔B〕の空欄 および にあてはまる語句を、ア～オのなかからそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

ア 地租 イ 地価 ウ 地代 エ 小作料 オ 物納

問3 史料〔B〕の空欄 および にあてはまるものを、ア～オのなかからそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい（ただし新字体で表している）。

ア 百分ノ二 イ 百分ノ三 ウ 百分ノ一ヶ半
エ 百分ノ二ヶ半 オ 百分ノ三ヶ半

問4 次の史料〔ア〕～〔オ〕のうち、地租改正条例の公布の前年に廃止されたものとして適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

〔ア〕 田畠・山河以下の下地は中分せしめ、各一円の所務を致すべし。

〔イ〕 身上^よ能き百姓は田地^{でんち}を買い取り、弥^{いよいよよろし}宜^{しんだい}く成り、身躰^{しんたい}成らざる者は田畠^{でんち}活^{こきやく}却^{なかな}せしめ、猶々^{なかな}身上^{なかな}成るべからざるの間、向^{きようこう}後^{ちようじ}田畠^た売^う買^か停^{てい}止^じ為^なるべき事。

〔ウ〕 仰^{おほ}せ出^だされ候^{こう}趣^そ、国人^{こくにん}并^{ならびに}百姓^{ひやくしやう}共^{ども}ニ合^あ点^{てん}行^{ぎやう}候^{こう}様^{やう}ニ、能^{よくよく}々^々申^まし聞^きすべく候。
自然^{じねん}、相^あ届^{とど}かざる覚^さ悟^ごの輩^{はい}之^の在^あるに於^おては、城^{じやう}主^{しゆ}にて候^{こう}ハ、其^{その}もの城^{じやう}へ追^お入^いれ、各^{おの}相^あ談^{だん}じ、一^{ひと}人も残^{のこ}し置^おかず、なでぎりニ申^まし付^けくべく候。

〔エ〕 其^{その}の新^{あたら}たに溝^{みぞ}池^{いけ}を造^{つく}り、開^{ひら}墾^{げん}を営^いむ者^{もの}有^あらば、多^{おほ}少^{せう}を限^{かぎ}らず、給^{たま}ひて三世^{さんせい}に伝^{つた}へしめん。

〔オ〕 今^{いま}より以^も後は、任^まに私^し財^{ざい}と為^なし、三^{さん}世^{せい}一^{いつ}身^{しん}を論^{ろん}ずること無^なく、咸^{みな}悉^{ことごと}くに永^{なが}年^{ねん}取^とる莫^なれ。

問5 史料〔A〕が出された年から図1の期間Aの末にかけて、米価は傾向的には上昇している。これにかかわる記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

ア 米価の上昇は、自作農にとって地租の負担を実質的に軽くする効果を持った。

イ 米価の上昇によって、地主や自作農はより多くの地租を支払わなければならないから、彼らが取得する米の量を減らしてしまう作用を持った。

ウ 米価の上昇に加えて、史料〔B〕の傍線部①の年に地租が物納から金納に変更されたので、地租の負担は軽くなる傾向にあった。

エ 米価の上昇により高い米価を基準に地租が計算されるだけでなく、史料〔B〕の傍線部①の年には地租の税率が引き上げられたため、政府の歳入は実質的には増大した。

オ 米価の上昇は、地主にとっては金納での地租の負担を実質的に軽減させると同時に、現物で得られる小作料のうちの地主の取り分を増やす効果を持った。

問6 図1の期間Bはある政変の直後からの期間を示している。この政変で罷免された参議は誰か、語群〔I〕から1つ選び、その記号をマークしなさい。また、その人物にもっとも関連する事柄を、語群〔II〕および〔III〕のなかから1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

語群〔I〕

ア 松方正義 イ 板垣退助 ウ 伊藤博文 エ 大隈重信

オ 黒田清隆

語群〔II〕

ア 立志社 イ 愛国社 ウ 国会期成同盟 エ 自由党

オ 立憲改進黨

語群〔III〕

ア フランス流の急進的自由主義 イ プロイセン型の立憲君主制

ウ イギリス流の議院内閣制 エ ロシア型の君主制

オ アメリカ型の民主制

問7 図1の期間Bについての記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 期間Bに長く大蔵卿および大蔵大臣を務めた人物は、当時の政府歳入の減少に対処するために、増税を伴うインフレ政策を導入した。
- イ 期間Bの米価の下落は、自作農にとっては地租の負担の増大となり、土地を手放して小作農に転落する動きが進んだ。
- ウ 期間Bの米価の下落によって小作地率が上昇していったが、地主は所有地を小作人に貸し付けて高率の小作料を金納で取り立て、他方で貸金業や酒屋などを営むようになっていった。
- エ 期間Bの米価下落により地租の支払いに苦しむ小作農は、貧民として都市に流出したり、子女を工場に出稼ぎに出したりするようになった。
- オ 期間Bに、地主は地租収入をもとに企業をおこしたり、公債や株式に投資したりして、資本主義化を促進していった。

問8 図1の期間Dについての記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 大戦景気により労働者の賃金は1914年を100とすると1919年には200を超えるまでに大幅に上昇したため、生活水準もそれだけ上昇した。
- イ この時期の米価や物価の上昇によって、米価や物価で測った場合の実質的な賃金は、1914年より1919年の方が低下した。
- ウ 社会主義国家の誕生を恐れた連合国に促されて日本も干渉戦争に出兵するが、これがこの時期の米価の上昇に拍車をかけた。
- エ この時期の物価上昇を伴った景気拡大によって、三井や三菱などの政商は財閥へと成長していった。
- オ 世界大戦が終結すると、日本経済は輸出が鈍化するなどのために苦境に陥り、物価は1919年をピークに大きく下落した。

問9 図1のすべての期間にわたる農民の状況についての記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

ア 期間Aに各地で生じた農民運動は、史料〔B〕の傍線部①の年に示された制度改正をもたらす大きな影響力を持った。

イ 期間Bの後半から期間Cの前半の工場労働者の大半は機械産業が占めており、その大半は女性であった。その多くは小作農家などの子女たちであり、劣悪な労働環境での労働に従事していた。

ウ 期間Cの時期には地租の負担増もあり、農業生産の停滞や農村の困窮が社会問題となったので、政府はこれに対応すべく地方改良運動を進めた。

エ 期間Dの米価の大幅な高騰の背景には、当時の地主制の下での農業生産の停滞もあった。

オ 期間Dの米価が大きく下落し始めた前後から、地租の引き下げを求める小作争議が頻発し、この期間において日本農民組合が結成された。

IV 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。(30点)

太平洋戦争に敗れた日本は、GHQ(①連合国軍最高司令官総司令部)の指揮下におかれることになった。GHQは、財閥解体や寄生地主制の改革を実施するとともに、労働基本権の確立を中心とした労働政策の導入や教育制度の民主化を進めていった。②また、敗戦直後の日本では物資が不足し、通貨も増発されたため、激しい(1)に見舞われた。そこで1946年2月には、貨幣流通量を減らす金融緊急措置令が発令されるとともに、同年12月には石炭・鉄鋼など重点産業へ資材や資金を集中的に投入する(2)が閣議決定された。このように終戦からサンフランシスコ平和条約が③発効した1952年までの日本では、国としての体制の立て直しがGHQ主導のもとで行われた。

戦後の混乱期を経た日本は、1950年代に入ると経済復興をはたしていく。日本は、1952年にIMF(国際通貨基金)、1955年に〔A〕(関税及び貿易に関する一般協定)に加盟し、世界の自由貿易体制に組み込まれた。日本は、1950年代後半から④高度経済成長期に突入していく。この間、日本は神武景気、岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気と4度の好況期⑤を経験した。そして1968年には資本主義諸国のなかで〔B〕の国民総生産を実現した。また高度経済成長に伴い、国際社会における日本の存在感も増していった。1964年にはオリンピック東京大会、1970年には(3)で日本万国博覧会が開催され、世界各地から多くの人々が日本を訪れた。

1970年代に入ると、世界経済の情勢が急速に不安定化していく。当時、国際収支が悪化していたアメリカは、1971年8月に金とドルの交換を停止し、日本や西ドイツに為替レート的大幅な切り上げを要求した。その後、日本は1973年には西欧諸国とともに(4)へ移行した。また同年10月には第4次中東戦争が勃発し、原油価格が高騰したため、欧米や日本の経済は打撃を受けた。こうした事態に対応するため、⑥1975年に6か国首脳による先進国首脳会議(サミット)が開催された。また、1970年代の日本の対外関係で特筆すべきは、中国(中華人民共和国)との関係正常化である。日本は、1972年に日中国交正常化を実現し、⑦1978年には日中平和友好条約を締結した。

1980年代に入ると、日本の対米貿易黒字が激増した。その原因のひとつとして為替

レート水準が指摘され、1985年の5か国蔵相・中央銀行総裁会議では、為替レート水準の是正が合意された（プラザ合意）。その結果、〔 C 〕。その後、日本は内需に主導されるかたちで景気が回復し、いわゆるバブル経済期（1986年～1991年）に突入していった。^⑧

問1 下線部①の最高司令官を務めた人物の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア チャーチル イ ローズヴェルト ウ スターリン
エ トルーマン オ マッカーサー

問2 下線部②に関する説明として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 農地改革は、従来の寄生地主制を解体して、新たに大量の小作農を生み出すために行われた。
- イ 第二次農地改革では、不在地主の全貸付地、在村地主の貸付地のうち一定面積（都府県平均1町歩、北海道4町歩）をこえる分は、国が強制的に買い上げて、小作人に優先的に安く売った。
- ウ 財閥解体では、戦前からの有力財閥の資産の凍結・解体が行われたが、財閥の株式所有の中心となった持株会社制度は維持された。
- エ 1945年から1947年にかけて整備された労働三法とは、労働組合法、労働関係調整法、労働基準法である。
- オ 1947年に制定された教育基本法によって、日本でははじめて義務教育制度が導入された。

問3 空欄(1)～(4)に入るもっとも適切な語句を下記のア～シの中からそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | |
|-------------|----------|------------|
| ア つくば | イ 大量生産方式 | ウ 固定相場制 |
| エ 愛知 | オ 変動相場制 | カ インフレーション |
| キ スタグフレーション | ク 大阪 | ケ デフレーション |
| コ 傾斜生産方式 | サ 金本位制 | シ 集中生産方式 |

問4 下線部③の時期に起きた国際的な出来事として誤っているものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 中華人民共和国の成立
- イ 北大西洋条約機構(NATO)の結成
- ウ ベトナム戦争の勃発
- エ 大韓民国の建国
- オ 朝鮮戦争休戦協定の調印

問5 空欄〔 A 〕に入る「関税及び貿易に関する一般協定」の英語略称名を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| ア IBRD | イ WTO | ウ OECD | エ GATT |
| オ FTA | | | |

問6 下線部④の時期の特徴を表す説明として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 石油危機を契機に、エネルギー不足が深刻な社会問題となり、それを克服するために企業は減量経営につとめ、省エネ型の産業や省エネ製品の開発が盛んになった。
- イ 経済が成長する一方で、日本各地で公害の発生が深刻化したため、公害対策基本法が制定された。
- ウ 人口の都市への集中が進み、都市部では住宅不足が生じたことから、東京の多摩や大阪の千里などでニュータウン建設が進んだ一方で、農村地域では過疎化が進展した。
- エ 自家用車が急速に普及するモータリゼーションが進むとともに、名神高速道路や東名高速道路が開通した。
- オ 個人所得の増大とともに大衆消費社会が形成され、1960年代半ばには白黒テレビの普及率が90%に達した。

問7 下線部⑤に示した4度の好況期のうち、もっとも長期間にわたって続いた景気を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 神武景気 イ 岩戸景気 ウ オリニック景気
- エ いざなぎ景気

問8 空欄〔 B 〕に入る文章としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア アメリカ合衆国を抜いて世界第1位
- イ アメリカ合衆国につぐ世界第2位
- ウ アメリカ合衆国、西ドイツにつぐ世界第3位
- エ アメリカ合衆国、中国につぐ世界第3位
- オ 中国につぐ世界第2位

問9 下線部⑥に出席していない国名をすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア ソ連 イ イギリス ウ 日本 エ 西ドイツ
オ イタリア カ アメリカ合衆国 キ フランス ク 中国

問10 下線部⑦を結んだときの内閣総理大臣の名前を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 田中角栄 イ 三木武夫 ウ 福田赳夫 エ 大平正芳
オ 鈴木善幸

問11 空欄〔 C 〕に入る文章としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 円高が急速に進み、輸出産業を中心に日本経済は不況に陥った
イ 円安が急速に進み、輸出産業を中心に日本経済は不況に陥った
ウ 円高が急速に進み、輸入産業を中心に日本経済は不況に陥った
エ 円安が急速に進み、輸入産業を中心に日本経済は不況に陥った
オ 円高が急速に進み、輸出産業を中心に日本経済は好況を迎えた
カ 円安が急速に進み、輸出産業を中心に日本経済は好況を迎えた
キ 円高が急速に進み、輸入産業を中心に日本経済は好況を迎えた
ク 円安が急速に進み、輸入産業を中心に日本経済は好況を迎えた

問12 下線部⑧の時期に起きた国内外の出来事として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 東西ドイツの統一
イ 細川護熙政権の誕生による55年体制の崩壊
ウ 湾岸戦争の勃発
エ 竹下登政権による消費税3%の導入
オ 日本労働組合総連合会（連合）の発足

